



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel +81 (0)3 6434 7010

fax +81 (0)3 6434 7011

web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## 竹林玲香「A petal falling」

会期: 2026 年 4 月 4 日 (土) - 5 月 2 日 (土)

会場: タカ・イシイギャラリー 六本木

オープニング・レセプション: 4 月 4 日 (土) 17:00 - 19:00

タカ・イシイギャラリーは 4 月 4 日 (土) から 5 月 2 日 (土) まで、竹林玲香の個展「A petal falling」を開催いたします。タカ・イシイギャラリーでは 2 回目の個展となる本展では、ペインティング作品 5 点を含む最新作を発表いたします。

竹林は自らが体験した風景を視覚表現として再び立ち上げる試みに一貫して取り組んできました。拠点を置く京都の豊かな自然観察を出発点に、海外での旅や長期滞在を通じて現地の生活や歴史に触れた経験が制作の根底にあります。それはある地点から見た景色の表層をなぞりスナップショットのように再提示することではなく、その細部や深部にある、五官をもって知覚した彩り豊かなことがらを捉え、具象と抽象を織り交ぜながら画面上に定着させようとする取り組みです。

地衣類や苔類の繁殖形態のほか砂礫の生成構造などに関心を寄せていると語る竹林の作品では、土地に固有の構成要素がミクロの視点をもって拾い上げられ、質感とともに作品の中でかたちをとります。大小の動きを伴う絵筆のストロークは薄く溶かれた絵の具をキャンバス上に重ねてゆき、モチーフとなる場の空気感を包み込むようにして画面に穏やかな揺らぎを与えています。色彩は、見たものを再現する写实的役割に限定されることなく、作家が抱いた印象をつなぎとめる手がかりとして作用します。竹林の作品を前にして全体と細部を行き来する鑑賞行為は、風景を前にして感覚をひらき複合的に処理するプロセスと重なり、自然がもたらす様々な刺激が視覚表現へと収斂していくさまを見てとれます。

移ろいゆく眺めの中で生じつつある現象を留めようとする竹林の姿勢は、私たちを取り囲む大小の時間軸へと意識を向けさせます。打ちつける水が岩壁を少しずつ削り取っていく浸食作用や、細胞が徐々に分解されることで花弁が散るまでの経過など、身のまわりの自然現象の進度を直接目にはできませんが、そこには人の認知を超えた時間の流れが確かに含まれています。こうした観点と密接な結びつきを有する竹林の作品もレイヤーを緻密に重ねて描き起こされ、制作そのものがまた時間の積層であることを示唆しています。

絵画と並行して制作を続けている陶板作品においては、形態への実験的な関心を維持しつつも、複数のセラミックを併置させてスケールを拡大するなど積極的な展開が試みられています。本展で新たに発表される水性樹脂を使用した作品は、表面に立体的な痕跡を作り出した型をベースに成形されており、石膏に類似した独特のテクスチャーを持つことに特徴づけられています。可塑的な粘土や流動的な樹脂が最終的に硬化する過程では、メディウムと触れあう「手探り」をもって物質へとアプローチする作家の実践が垣間見え、柔らかさと硬さ、安定と不安定といった両義性がグラデーションを伴って取り込まれています。

竹林玲香は 1998 年大阪府生まれ、京都府在住。2020 年京都造形芸術大学美術工芸学科油画コース卒業、2022 年に京都市立芸術大学大学院修士課程油画専攻修了。主な個展として「When we see invisible sea」Public Gallery（ロンドン、2025 年）、「You should care more about butterflies」タカ・イシイギャラリー 前橋（群馬、2024 年）、「mtk+ vol.12 竹林 玲香」mtk+（京都、2022 年）、「うつろいおわりがないもの」あべのハルカス近鉄本店 WALL GALLERY（大阪、2022 年）、「P/P」浄土複合ウィンドーギャラリー StandAlone（京都、2020 年）など。主なグループ展に、「land marks」Pace Gallery（ロサンゼルス、2025 年）、「Neck of the wood」Public Gallery（ロンドン、2025 年）、「grid4」biscuit gallery（東京、2025 年）、「遠い木々が」ピーク 585 ギャラリー（大阪、2023 年）、「MtK Satellite vol.2」MtK satellite（愛知、2023 年）、「SHIBUYA STYLE vol.16」西武渋谷店 美術画廊・オルタナティブスペース（東京、2022 年）など。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 六本木 展覧会・プレス担当: 野田舜士 (press@takaishiigallery.com)

Seiya Nakamura 2.24 Inc. 田邊友里恵 (yurie@seiyanakamura224.com)、尾崎悠一郎 (yuichiro@seiyanakamura224.com)

〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-24 complex665 3F tel: +81 (0) 3 6434 7010 fax: +81 (0) 3 6434 7011

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com

営業時間: 12:00 – 19:00 定休日: 日・月・祝祭日



竹林玲香「Beyond the window」2026 年

キャンバスにアクリル、油彩

190 x 150 cm

© Reika Takebayashi

撮影: 高橋健治